

SHIRAKOBATO

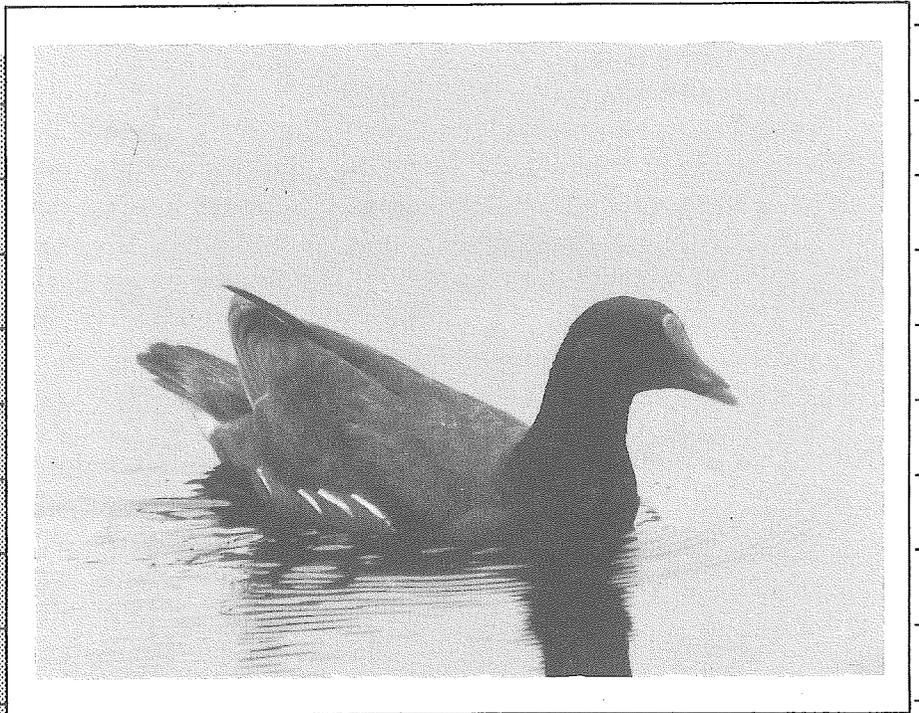
# しらこぼと



1998. 5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 169

日本野鳥の会 埼玉県支部

# 秘境探鳥行・ボルネオよいとこ

杉本秀樹(船橋市)

この頃は、鳥見のために外国まで出かける人も多い。その中には、一昔前なら世界の秘境と紹介されていた所も多い。今月号は、そんな鳥見の見聞録です。(編集部)

## ドタバタの出発

新婚旅行としてボルネオのバードウォッチングツアーに夫婦して申し込んだけれども、カミさんのお腹がふくらんできて安定期に入るまでは自重したほうが良いということで、とうとうひとりで行くはめになってしまった。ただし、月数はあっているので念のため。

## キナバル山

ボルネオ島といっても、面積は日本の2倍もあって、マレーシア領とインドネシア領に分かれ、ブルネイという小さな独立国まである。ツアーで行ったのは最北端、マレーシア領のサバ州だけである。

州都のコタキナバルで一泊した後、最初の目的地キナバル山へと向かう。ここは東南アジアの最高峰として知られ、ふもとから山頂近くまで標高の違いによって多様な鳥相が見られる。滞在したのは1500mの高さにあるロッジだった。赤道が近いというのに高地だけあって驚くほど涼しい。

翌日の早朝探鳥会は5時から。街灯に集まる虫を食べに来る鳥を見るのが目的である。敏捷に動き回るチャガシラガビチョウ、フライングキャッチが巧みなハイロオウチュウ



(キナバル山)

などが楽しめた。

日が昇った頃からは金属光沢のあるベニタヨウチョウの囀りがチョチョン、チョチョンと響き渡り、林の中を10種を超えるムシクイ類の混群が移動していく。メモしているノートが見る見る埋まっていく。

遠くの木の梢にオスは赤、メスは黄色のベニサンショウクイがやって来た。鮮やかな色彩だ。標高2000m付近の上空では、蒸気機関車のような羽音をたてて6羽のシワコブサイチョウの群れが通り過ぎていった。ここの名物だそうだ。青い空に峨々たるキナバル山の山容。森林には鳥、鳥、鳥。ここはかなり天国に近い。

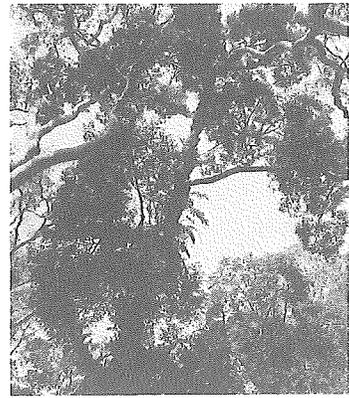
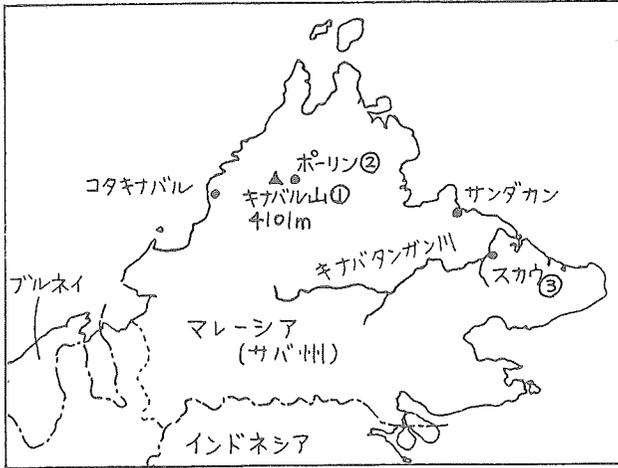
## ポーリン

次は麓の温泉地ポーリンに移動した。ここのお目当ては低地の森林に棲息する鳥だが、典型的な熱帯雨林も見ることができる。

冷房のきいたバスを降りると首筋がジリジリと音をたてるほどの暑さ。ハイビスカスの花までが燃えているようだ。その花にクモカリドリ類がやって来る。タイヨウチョウ科のこの鳥はクモを食べるが、長い湾曲した嘴で花の蜜を吸ったりもする。

林の中の開けた場所にある高い木にいろいろな種類の鳥が来るので、いながらにして20種近くが見られる。先に進めないまま夕暮れになってしまった。黄色のアイリングがあるオオジュウイチや長く伸びた尾羽の先が黒いかたまりになっているカザリオウチュウなどは見ものだった。ただし、いいことばかりではない。ボルネオにはヒヨドリ類が24種もいて、どれも愛敬のない顔をしている。それが代わり交替に出てくるのでなかなか覚えられず、最後までてこずった。

本物の熱帯雨林に出会えたことを記しておきたい。低木、高木の上にさらに超高木とい



(熱帯雨林の樹冠部)

う三層構造になっていて、ラワンなどフトバガキ科の木は高さ50mにも達する。樹皮にはラン科の植物がいっぱい付着している。中を歩くと林床は意外とすいていて、マメ科の木が目立つ。サンダカンからスカウまでの道中は、ずっとアブラヤシのプランテーションが続いていた。所々に残った高木から、ここはかつて熱帯雨林だったことがうかがえる。

夜はロッジのベランダでロウソクの明りで食事。遠くから「ココタコ」と聞こえるセグロカッコウの声が響いてくる。ふと空を見上げると、原始に帰ったような星と天の川。南の正面には明るい4つの星が十字を形作っている。とうとう見てしまった。

電気も水道もない森にはいっぱいヒルがいるけど、ここもやっぱり天国に近い！

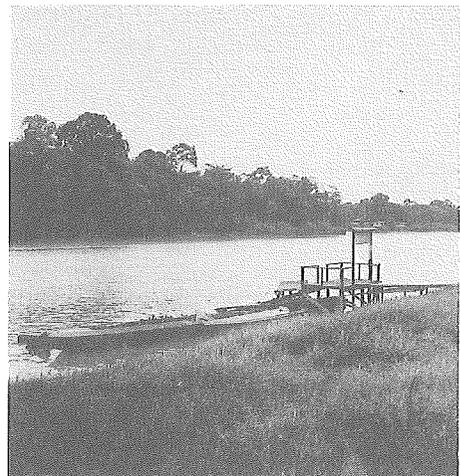
### スカウ

ツアーの専用バスなので、鳥が出たというには止まり、また走り出すというチンタラぶりです。やっと最後の目的地スカウにたどり着いた。褐色の水をたたえたキナバタンガン川のほとりにロッジが点在する小さな村で、水道も電気もない。その代わり川沿いには湿地性の森林が広がっており、鳥類はもとよりテングザルやカニクイザル、大トカゲ、なんとゾウまで棲んでいる。

川は重要な交通路で、鳥を見るのも小舟でクルージングしながらだった。枝分かれた水路を進んで行くと、木々が頭上に覆いかぶさってくる。そんな場所は鳥たちにとっても天国。サイチョウ類やヒタキ類などをふんだんに見ることができた。日本では絶滅したキタタキも見られたが、なんといっても圧巻はカワリサンコウチョウ。赤茶色の体に長くて白い尾羽をひらひらさせながら川面を飛び回る姿は、天女の舞を思わせる。勿論これはオスだが、これだけ立派な成鳥にはなかなかお目にかかれないそうだ。

### (参考文献)

キナバル山の鳥 文一総合出版  
A field guide to the Birds of Borneo, Sumatra, Java and Bali. Oxford



(キナバタンガン川)

1997 夏

# 「鳥の目から環境を調べよう！」調査報告

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

1997年の夏の調査は、75件の回答を頂き、調査にご協力いただいた会員各位の自宅から半径50m以内で、51種が記録されました（表1、表2）。

7通りの環境別に上位5種をリストアップ（表3）しました。商業地区、工業地区、農業地区、林業地区は調査サンプル数が少ないため上位5種が決められません。高層住宅地区では、去年と比べカワラヒワが落ちています。全環境については、1996年のオナガと1997年のキジバトが入れ替わりがあった位で後は同じです。（表4）。

表2のオンドリは、繁殖のため越夏してい

る個体と思われます。セキセイインコはかご抜けでしょう。

\*\*\*\*\*

1998年夏も、観察期間を5月10日から7月10日とし、自宅から半径50m以内で観察された鳥を、6月号に同封する調査はがきで回答する調査を継続します。

環境と鳥との関係を見る調査ですので、ドバト・ワカケホンセイインコ・セキセイインコなど、他のかご抜けの鳥もご記入ください。

商業地区、工業地区、農業地区、林業地区の方々に積極的なご参加をお願い致します。

（小荷田行男）

表1 調査概要

調 査 期 間	1997年5月10日～7月10日			
調 査 参 加 者	支部会員75名			
調 査 区 域	会員各位の自宅から半径50m以内			
	餌 台	水 場	巣 箱	回答件数
高層住宅地区	2	0	0	15
1～2階建て住宅地区	19	12	2	52
商業地区	0	0	0	1
工業地区	0	0	0	1
農業地区（主に畑）	0	0	1	4
農業地区（主に水田）	0	0	0	2
林業地区	0	0	0	0
計	21	12	3	75

表3 埼玉県における環境別上位5種（夏鳥）

環 境	1位	2位	3位	4位	5位
高層住宅地区	スズメ	ヒヨドリ	キジバト、ムクドリ		ツバメ、オナガ
1～2階建て住宅地区	キジバト	スズメ	ムクドリ	ヒヨドリ	ツバメ、オナガ
商 業 地 区	該 当 な し				
工 業 地 区	該 当 な し				
農業地区（主に畑）	オナガ、シジュウカラ、コゲラ			該 当 な し	
農業地区（主に水田）	該 当 な し				
林 業 地 区	デ ー タ な し				

表2 調査結果一覧

種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	すべての環境	種	高層住宅地区	1~2階建て住宅地	商業地区	工業地区	農業地区(主に畑)	農業地区(主に水田)	林業地区	すべての環境
スズメ	15	47	1	1	3	1		68	アオバズク		1			3	1		5
キジバト	13	48	1	1	3	1		67	セッカ	1	2			1	1		5
ヒヨドリ	14	44	1	1	3	1		64	ホオジロ	2	1			2			5
ムクドリ	13	45	1	1	3	1		64	アオゲラ		1			3			4
ツバメ	11	41	1	1	3	1		58	イカル		1			2	1		4
オナガ	11	41		1	4			57	キジ	1				2			3
ハシブトガラス	9	35	1	1	3	1		50	モズ			1		1	1		3
シジュウカラ	7	34		1	4	1		47	ダイサギ		1			1			2
カワラヒワ	11	30	1		2	1		45	ヨタカ	1	1						2
ハシボソガラス	8	25	1	1	3	1		39	イワツバメ	1	1						2
カッコウ	4	26			2	2		34	アマサギ					1			1
ハクセキレイ	5	19	1		1			26	オシドリ					1			1
コゲラ	5	13			4	1		23	トビ					1			1
カルガモ	6	10			3	1		20	オオタカ					1			1
コサギ	4	11			2	1		18	ハイタカ		1						1
ドバト	5	11				1		17	ノスリ					1			1
ゴイサギ	3	10			2	1		16	チョウゲンボウ		1						1
カワウ	2	8			1	1		12	コチドリ		1						1
セグロセキレイ	4	5			2			11	ツツドリ					1			1
コジュケイ	1	4			3	1		9	ヤマセミ					1			1
ウグイス	1	4			3	1		9	カワセミ					1			1
シラコバト	1	6	1					8	ブッポウソウ		1						1
ヒバリ	2	4			1	1		8	キセキレイ					1			1
ホトトギス		4			3			7	サンコウチョウ		1						1
オオヨシキリ	2	4			1			7	セキセイインコ		1						1
メジロ	2	4			1			7	合計	165	548	11	9	84	24		841

表4 全環境の上位5種

	種数	1位	2位	3位	4位	5位
1996	73	スズメ	ツバメ	ヒヨドリ	ムクドリ	オナガ
1997	51	スズメ	キジバト	ヒヨドリ、ムクドリ		ツバメ

『しらこぼと』を盛り上げよう  
角田きみ子 (岩槻市)

入会して早くも丸6年が経ちました。でも平日が休みのため、一度も探鳥会に参加できずにくやしい思いをしています。

休みにはたまに『しらこぼと』に載っている探鳥地などを一人寂しくまわっています。先日春部の内牧公園あたりをうろうろ歩いて、野鳥を捜し求めておりました。その前は黒浜沼、元荒川と、案外近くにも野鳥たちの姿は多数見つけられるものですね。

写真に撮ることも楽しくて、ピントがピシッと合ったのができ上がった時は、この上ない喜びの今日この頃です。

珍しい鳥はまだキャッチできないのですが、これから一人でも頑張って、四季折々の

自然の移ろいを、体で感じていきたいと思えます。

野鳥達との出会いももちろんですが、これからの楽しい『しらこぼと』誌作りに、皆様で盛り上げて(私たちも当然協力していかねばなりません)、よろしく願います。



カシラダカ (角田きみ子)

# 第22回評議員会に参加して

榎本秀和(鴻巣市)

1998年3月7日(土)と8日(日)の2日間、東京都大田区の大田市場会議室で、日本野鳥の会第22回評議員会が開催された。埼玉県支部からは評議員である海老原美夫副支部長と、オブザーバーとして藤掛保司幹事と私が出席した。

## ◇評議員会とは

日本野鳥の会の支部は、現在活動停止中の支部を含めて全国に86支部ある。そして、各支部ごとに1名選出されている評議員が集まって開催されるのが評議員会で、理事・監事の選任その他の重要事項に関して同意を与え、また意見を述べるといった機能を持っている。今回の評議員会の内容は次のとおり。

- 平成9年度の事業進捗状況・決算見込
  - ならびに10年度の事業計画・予算の件
  - 評議員制度改正の件
  - 「会費制度の改定等に関する委員会」の審議経過報告
  - 「鳥と緑の国際センター(WING)」近況報告
  - 「全国支部代表者会議(仮称)」のあり方
- ちなみにオブザーバーには議決権はないが、意見発表は認められている。

## ◇第1日目

大田市場ってどこ?、とおそるおそる訪ねてみると、「何だ、大井野鳥公園の隣じゃないの」。しかも、昔の野鳥公園の周辺探鳥地に建ち並ぶ一群の建物が大田市場というわけ。この日はひじょうに風の強い日で、今の野鳥公園を話でしか知らない私は、浦島太郎状態になるは目にゴミが入るはで10分ほどの遅刻。受付の若い職員の案内で着席すると既に黒田長久会長の挨拶が始まっていた。

全国の支部からの、オブザーバーを含めた参加人数は100名ほどで、座席は演壇をコの字形に囲むように配置されいかにも会議といった真摯な雰囲気にあふれていた(写真右上)。それと、本部には若い職員が結構いるというのも意外のことで印象に残る。

## ◇夜の部、深夜の部

夕食を兼ねた立食パーティが始まると、皆さん緊張から解放され、懇親を深めたり情報を交換したりの和やかなひとときとなる。私



もビールをつき歩きながら、いわゆる「顔を売りまわる」ことができた。黒田会長とも、今冬のガン類の動向などについて懇談しながら名刺もいただいた。会長とお話するのは、10年ほど前、鳥体の計測と仮剥製の作成についてご指導いただいて以来のこととなる。

パーティが終わると、再び「真摯」に戻って「環境影響評価法」についてのレクチャーがあったりする。皆さん結構飲んでいるはずなのに偉いものだ、「評議員会恐る可し」。

そのあとは品物を持ち寄ってのオークションでいよいよ盛り上がり、深夜まで参加者それぞれに交流が図られた(ちなみに売上げ金約17万円は本部に寄付された)。

## ◇第2日目

皆さん何故かガラガラ声。それでも元氣よく、濁声の議論はさらに白熱する。分科会では①自然保護活動、②会員および会費制度関係、③調査・研究活動、④「全国支部代表者会議(仮称)」について議論を深め、全体報告の後、評議員会は閉会となった。

評議員会に出席して、本部や他支部の皆さんと顔を合わすことができたことは、私にとって良い経験となった。全国にたくさんの支部があることはわかっていたが、直接会話を交わすことによって、さまざまな歴史的経緯や現実の課題を実感することができる。これからの埼玉県支部の活動に思いを巡らすうえでもたいへん参考になると思う。次回はあなたも参加してみませんか。

# フレ～、フレ～、バードソン!!

●前日の5月9日に神泉村の城峰山にある村営下久保コテージに宿泊し、翌日に備えます。サポートいただける方、2～3名の余裕があります。

●5月10日（日）バードソン当日の予定

4時45分 神泉村城峰公園駐車場に集合。

5時00分 城峰公園内、神流湖下久保ダムから三波石峡。

7時00分 寄居町玉淀湖周辺。

9時00分 本庄市の坂東大橋南詰め到着。

11時30分 熊谷市・大麻生定例探鳥会に荒川の明戸堰付近で合流。

13時00分 滑川町の森林公園南口（ふれあい広場）で「武蔵丘陵森林公園の自然を考える会」の人たちと合流。

16時30分 浦和市三室の芝川の通称お立ち台に到着。

17時00分 三室でのイベント開催。

●浦和市・三室でのイベント

集合：午後3時30分 浦和市立郷土博物館前（北浦和駅にリーダーはいませんので、直接お集まりください。）

交通：京浜東北線北浦和駅東口から浦和市立病院行きバスで終点下車。

担当：福井、工藤

内容：バードソンチームの支援探鳥会、バードソンチーム眼前出現鳥予想投票、第2回バードソン支援オークションを行います。

●バードソンチーム眼前出現鳥予想投票

大麻生定例探鳥会と三室で実施する予定ですが、あらかじめ「投票用紙」をみなさんにお配りします。バードソンチームが到着するまでにあなたの予想を「投票用紙」のリストにチェックし、リーダーに渡します。

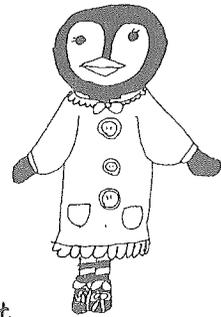
バードソンチームが到着して確認種の鳥合わせをします。その結果で「ピタリ賞」「的中賞」「番外賞」などを決めます。賞品を用意しますので奮って参加してください。

●ご協力をお願い

当日、各探鳥コースでサポートしていただだけませんか？ 4人の目より、5人、10人の目の方が広い場所を探せます。

また、オークションにご寄付いただける品物があれば、支部探鳥会または当日の探鳥地にお持ちください。

●ご質問はバードソン・リーダーの橋口まで、  
TEL:



二年  
橋口知枝

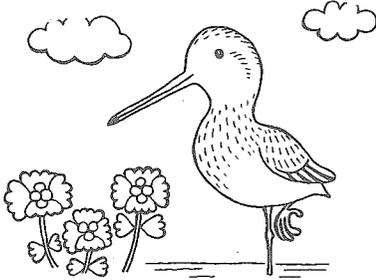
## 表紙の写真

### バン（クイナ科）

やや蒸し暑い薄曇りの日。私たち（私と愛犬リリィ）に慣れている1羽が、良い角度で岸に近付いて来た。泳ぎながら近付いてくれることは滅多にない。幸運を喜びながら数枚撮った中の1枚。

昨年6月23日、岩槻市慈恩寺沼。  
岸が上がった後は、低い草の中で餌を採っていた。このバンは、私たちは2年は続けて見ている見事な成鳥で、脚の黄緑色も大変鮮やかだ。 芳川伸一（岩槻市）

# 行事あんない



(何森 要)

特別な場合を除いて予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章をした担当者に遠慮なく声をおかけください。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費は一般100円。会員と中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時頃。小雨決行です。

自然保護のため、できるだけ電車バスなどをご利用のうえ、指定の集合場所までおいでください。

## 千葉県習志野市・谷津干潟探鳥会

期日：5月5日(火・祝)

集合：午前9時30分 JR武蔵野線南船橋駅前

交通：JR武蔵野線武蔵浦和8:34→南浦和8:37  
→南船橋9:26着

担当：杉本、佐久間、手塚、長谷部、伊藤、篠原(東)

見どころ：ラムサール条約の登録地になって今年で5年。夏羽のシギ・チドリ類で干潟が華やかになる季節です。比較的近くで見られますから、シギ・チドリの苦手な人もよく判りますよ。

葉線乗換え8:14発→蘇我で内房線乗換え8:47発→いわね着9:17。乗車券はホリデーパスが便利でお得です。

解散：現地にて15時ごろ

担当：中島(康)、櫻庭、新堂、中村(榮)

見どころ：東京湾に唯一残った大きな干潟。でも東京湾横断道路もできて変わりつつあります。その干潟を歩き、群れている渡りの鳥たちを観察します。

注意：干潟の中はぬかるんでいますのでゴム長靴が必要です！ 昼食、水筒、帽子、雨具をお忘れなく。

## 浦和市・秋ヶ瀬公園探鳥会

期日：5月7日(木)

集合：午前8時 JR浦和駅西口バスロータリー、集合後バスで現地へ。(5番乗り場8:17発大久保浄水場行きにて下大久保下車、徒歩10分)、または8時45分ピクニックの森駐車場

担当：櫻庭、松井、中村(榮)、兼元、藤掛、志村、海老原(数)、丹、高

見どころ：人気絶大の平日探鳥会です。渡り途中のオオルリ、キビタキなどの夏鳥が身近なところで見られます。ピクニックの森から子供の森と歩きます。

## 長野県・白馬山麓探鳥会(要予約)

期日：5月9日(土)～10日(日)

定員に達しましたので締切りました。

## 蓮田市・黒英沼探鳥会

期日：5月10日(日)

集合：午前8時45分 JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前、集合後バスで現地へ。

担当：玉井、中島(康)、吉田、田中

見どころ：陽光に輝く新緑の5月、たんぼでは田植えのさかりです。水が張られた田に群れているムナグロの中にどんなシギ・チドリが混じっているか探してみましょ。それにオオヨシキリ、セッカの合唱も待っていますよ。

## 千葉県木更津市・小櫃川河口探鳥会

期日：5月9日(土)

集合：午前10時 木更津市金田海岸駐車場

交通：JR武蔵野線南浦和7:18発→南船橋で京

## 熊谷市・大原正定例探鳥会

期日：5月10日(日)



# 行事報告

1月18日(日) 浦和市 三室地区  
雨のため中止。

2月1日(日) 越谷市 古利根川  
参加: 13人 天気: 快晴

カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ イカルチドリ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ ツグミ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (17種) “超ビギナー向け”と銘打ったこの探鳥会。初めての参加会員が6名もいて、リーダーとしては、大変うれしく思った。改めて、この種の探鳥会の必要性を考えた一日でもあった。(山部直喜)

2月8日(日) 熊谷市 大麻生  
参加: 38人 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ オナガガモ トビ オオタカ ノスリ ハヤブサ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) ゴルフ場の南側を回るコース。トビ、オオタカ、ノスリ、ハヤブサが立て続けに現われ、楽しませてくれた。特にノスリが食べているネズミらしきものに、カラスが欲しそうにくちばしを伸ばす場面には皆喜んだ。帰り道、ゴルフ場内の木に数10羽のシメが群れていたのには驚いた。(和田康男)

2月11日(水、休) 上尾市 丸山公園  
参加: 38人 天気: 快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ ノスリ ハヤブサ タゲリ キジバト トラフズク カワセミ アカゲラ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ

ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 人工的な都市型公園で頑張っているカワセミ君に全員で感謝。河原ではすぐ近くまでノスリがやってきて、フィールドマークもバッチリ勉強できた。身近な鳥であるモズやジョウビタキが何回も出現して、その存在をしっかりとアピールしていた。(岡安征也)

2月11日(水、休) 所沢市 狭山湖  
参加: 30人 天気: 快晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ キンクロハジロ ホオジロガモ トビ オオタカ キジバト コゲラ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシブトガラス (33種) ここ数年、狭山湖のカモは減少傾向にある。今年は工事の影響で水位が低いためか、特に少ない。冬の名物カンムリカイツブリもはるか遠くに小さな群れが一つだけ。林の鳥も少なかったが、ルリビタキのきれいな個体に会えて少しだけ盛り上がった。(長谷部謙二)

2月14日(土) 大宮市 大宮市民の森  
参加: 23人 天気: 晴

カワウ ゴイサギ コサギ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ バン キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 開始前から揚げヒバリの声も聞こえ、気持ちよくスタート。芝川ではバンが期待どおり出現し、カモ類も7種を数

えた。また、お目当てのオオジュリンをじっくりと観察。梅の香の漂う中、無事終了。(工藤洋三)

2月15日(日) 深谷市 仙元山公園  
雪のため中止。

2月15日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園  
雪のため中止。

2月15日(日) 浦和市 三室地区  
雪のため中止。

2月15日(日) 富士見市 柳瀬川  
雪のため中止。

2月21日(土) 群馬県 夏妙竈  
参加：25人 天気：晴  
カイツブリ ダイサギ コサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ トビ オオタカ ノスリ キジバト ヤマセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カワガラス ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス キクイタダキ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (38種) 参加者25人の「心掛け」のせいで好天となったが、お目当てのイヌワシくんは出現せず残念。その代わりにヤマセミがペアで美しい飛行を見せてくれた。オシドリも数十羽が対岸に見られ、あのベタ足で木に止まっているのはユーモラス。後で聞くとところによると3時まで粘った人が4羽(幼1羽)のイヌワシを見られた。できれば是非とも通いつめてでもこの目で見たいもの。(松井昭吾)

2月22日(日) 東松山市 物見山  
参加：58人 天気：晴  
オオタカ ノスリ コジュケイ キジバト アカゲラ コゲラ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) お散歩日和の空をノスリが飛び、地上ではツグミがうろうろ。それを横目で見ながら、挨拶もそこそこに探鳥会が始まる。鳥は多くはなかったが、森や野辺のあちこち

に春のいぶきを実感。深呼吸をしたら、心がふんわり丸くなった。(榎本秀和)

2月22日(日) 岩槻市 岩槻公園周辺  
参加：54人 天気：晴

カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ コジュケイ イカルチドリ セグロカモメ シラコバト キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ルリビタキ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) どんな鳥が現われるか心配したが、村國池では、カワセミ、ルリビタキまでお出迎えて、参加者全員が大喜び。その場を離れたい気持ちを抑えて移動。すばらしい一日だった。(中村榮男)

2月26日(木) 戸田市 彩湖  
参加：46人 天気：曇

カイツブリ ハジロカイツブリ ミミカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ホシハジロ ノスリ ハイロチュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ バン オオバン イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ カシラダカ ホオジロ アオジ アリスイ コゲラ ヒバリ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 開始早々、道満池でアリスイの出現。初認という人が多く、熱心に観察した。途中、草地の小鳥に加え、ハイロチュウヒ♀、ノスリが空を飛び、彩湖ではカイツブリ4種を見、最後にチョウゲンボウ、ハヤブサのパフォーマンスで締めくくった。多くの参加者と多数の出現鳥に恵まれた新探鳥会だった。(櫻庭 勇)

2月28日(土) 『しらこぼと』袋つめの会  
ホランディア：18人

新井良夫、荒木恒夫、海老原教子、海老原美夫、大坂幸男、小池由美子、佐久間博文、島田恵司、島田沙織里、陶山和良、橋口長和、原島浩、原田譲、藤野富代、増尾隆、森力、山野豊、山野庸子

はみ出し行事案内

●栃木県・奥日光探鳥会（予約不要）

期日：5月30日（土）  
集合：午前9時20分東武日光駅前の湯元行きバス停前。集合後バスで現地へ。  
交通：東武伊勢崎線春日部7:42発快速日光行きに乗車。乗車券は「日光フリーパス」が便利でお得です。  
解散：午後3時半ごろ、湯の湖付近にて  
担当：中島（康）、桜庭、福井  
見どころ：平地に比べて1ヵ月は遅く季節がめぐり、ここは若葉が輝く季節です。赤沼から戦場ヶ原を経て湯滝まで、ノビタキ、キビタキ、コマドリなどの夏鳥を探します。

●両神村・両神山探鳥会（要予約）

期日：5月31日（日）～6月1日（月）  
集合：31日午前9時40分秩父鉄道三峰口駅改札口。集合後バスで登山口に。  
交通：秩父鉄道熊谷7:44発。または、西武鉄道所沢7:43発快速急行の三峰口直通車

両に乗車。

費用：8,000円の予定。一泊2食、バス代、保険料など。万一過不足の場合は、当日清算。

定員：15名（先着順、支部会員優先）

申し込み：下記注意点ご了承の上、往復はがきにて、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記して 小林ミドリ

まで。

担当：小林、榎本、松井、中村（榮）、堀  
見どころ：奥秩父の名峰で夏鳥達の歌と山の植物を楽しむ会です。夜の部の主役はもちろんコノハズク！…の予定なのですが…（今年こそ鳴いてね）

注意：◆はつきりと健脚向きです。登山口から山小屋まで、標高差約600mを登ります。急な登り降りもあり、一般の探鳥会に比較してかなりハードです。  
◆宿泊は山小屋の大部屋です。個室はありません。

連絡帳

●バードソンのいよいよ本番

5月10日（日）がバードソンの当日です。7ページの詳細をご覧ください。

果たして何種確認できるでしょうか。皆様のご協力は、どれほどの寄付金として実を結ぶでしょうか。最後までよろしく。

●バードショップ移転先迷走

前月号でお知らせした移転先が急遽変更されて、〒150-0036 渋谷区南平台町15-11、南平台野坂ビル3階の企画事業センター（TEL 03-5489-4700、FAX03-5489-4712）に同居することになりました。

●支部のホームページオープン

橋口長和幹事が中心になって準備を進めていた埼玉県支部のインターネットホームページが下記アドレスでオープンしました。

●鳥獣保護員の推薦

平成10年度の鳥獣保護員として、今年も1名の推薦依頼があり、引き続き福井恒人幹事を推薦しました。

●ごめんなさいコーナー

先月号7ページ、行事案内欄のカット作者は、何森要氏でした。

●5月の事務局 土曜と日曜の予定

16日（土）編集会議、研究部会議。  
23日（土）校正作業。  
24日（日）役員会議。  
30日（土）袋づめの会。

●会員数は

4月1日現在3,008人です。

活動報告

3月7日（土）～8日（日）本部評議員会に出席（別稿で詳報）。

3月8日（日）役員会議（司会：倉林宗太郎、バードソン関係・その他）。

3月21日（土）と22日（日）4月号校正作業（喜多峻次・喜多彌生・海老原美夫）。

編集後記

3～4年前までは、野鳥情報もあふれるほど。季節に合わない頃によく載せ、心苦しい思いをした事もあります。最近はそのような思いをせずにすみ、心爽やか。しかも今月も休みで、楽させてもらってます。（藤原）

『しらこぼと』1998年5月号（第169号） 定価100円（会員の購読料は会費に含まれます）  
発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460  
〒336-0012 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 00190-3-121130  
インターネットホームページ <http://www.bekkoame.or.jp/ro/wbsj-saitm/>  
印刷 関東図書株式会社 （本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします）

再生紙使用